



麻疹（はしか）は世界で流行している感染症です

麻疹は、麻疹ウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症として知られています。

麻疹ウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

どんな症状？ 感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。死亡する割合も、先進国であっても1,000人に1人と言われています。

予防法は？ 麻疹は感染力が強く、空気感染もするため、手洗い、マスクのみで予防はできません。麻疹の予防接種が最も有効な予防法といえます。



麻疹にかかったかも？と思うときは・・・

発しん、発熱などの麻疹のような症状がある場合は、麻疹の疑いがあることをかかりつけ医または医療機関に電話等で伝え、受診の要否や注意点を確認してから、その指示に従ってください。また、麻疹の感染力は非常に強いと言われています。医療機関へ移動される際は、周囲の方への感染を防ぐためにもマスクを着用し、公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

海外渡航後の感染、また国内での感染にも注意が必要です。

帰国後2週間程度は高熱や全身の発しん、せき、鼻水、目の充血などの症状に注意しましょう。

定点 種別	疾患名	状況	18週(4/28～5/4)		19週(5/5～5/11)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	—	11	0.44	10	0.40
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		24	0.96	26	1.04
	急性呼吸器感染症(ARI)		1431	57.24	1230	49.20
小児科	RSウイルス感染症		9	0.56	3	0.19
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	7	0.44	3	0.19
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	22	1.38	15	0.94
	感染性胃腸炎	—	71	4.44	79	4.94
	水痘(みずぼうそう)	—	3	0.19	7	0.44
	手足口病	—	1	0.06	1	0.06
	伝染性紅斑(りんご病)	—	12	0.75	14	0.88
	突発性発しん		12	0.75	11	0.69
	ヘルパンギーナ	—	1	0.06	0	0.00
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	0	0.00	1	0.06
眼科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	7	1.40	5	1.00
基幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎		5	1.00	5	1.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		5	1.00	1	0.20

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし